



株式会社 CAC Holdings

証券コード：4725

CAC 通信

2019年12月期 報告書 2019.1.1—2019.12.31

トップメッセージ

2019年度の業績について

2019年12月期の売上高は、国内IT事業や海外IT事業が増収となったものの、CROの大幅減収により506億83百万円と前年度並み(前年度比1.6%増加)に推移しました。営業利益はCRO事業の大幅減収の影響などにより前年度比7.9%減少の13億14百万円、親会社株主に帰属する当期純利益については、来期以降の収益性を上げる積極施策(不採算事業の整理や、保有資産の評価見直し等)等から31億99百万円の特別損失を計上した一方、投資有価証券売却による52億99百万円の特別利益の計上により、前年度比13.7%増加の15億円となりました。

→詳しくは裏面「業績・財務情報」をご覧ください。

中期経営戦略(2018年度～2021年度)の振り返り

中期経営戦略にて取り組んでいる既存事業における収益力改善について、国内IT事業は計画通りに進捗している一方、海外IT事業においては遅れが生じており、道半ばです。また、CRO事業については売上高の大幅減少という、中期経営戦略策定時には想定していなかった課題を抱えています。新規事業領域の創出については、ユニークなデジタルテクノロジーを有する企業への投資のほか、インドネシアを事業拠点とし、アジャイル開発などを得意とするMitrais Pte. Ltd.のM&Aなどを遂行したものの、当初想定していた新規事業による売上高の創出、拡大には至っていません。

中期経営戦略、最終年度2021年度に向けた取り組みについて

中期経営戦略の残る2年は、コーポレートガバナンス強化や執行体制による機動的な事業遂行は継続しつつ、まずは高収益モデルの確立に重きを置きます。また新設した投資財務戦略部により、財務及び投資戦略の構築とその戦略遂行の強化に取り組めます。

2018年度より取り組んでいるDX(デジタルトランスフォーメーション)対応への推進は引き続き強力で推し進め、2021年度には、デジタル売上比率50%を目標にしています。

中期経営戦略の最終年度である2021年度の業績目標は売上高550億円、営業利益を30億円と改定いたしますが、基本方針である資本効率改善や株主還元強化は重点事項として継続し、ROE8%達成という目標は変えることなく目指していきます。

DX時代に求められるものは社会やお客様との『共創』です。当社グループは社会、そしてお客様との共創モデル強化に取り組み、持続的に成長可能なグローバル企業となるべく進化します。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願いします。

→詳しくは中面「中期経営戦略」をご覧ください。

代表取締役社長 酒匂 明彦



業績・財務情報

ハイライト

- ✓ 国内ITや海外ITが増加したものの、CROの大幅減収により売上高は前年度並み
- ✓ 営業利益・経常利益も、CRO大幅減収の影響やM&A費用の発生により減少
- ✓ 特別利益は投資有価証券売却益、特別損失は不採算事業整理や保有資産評価の見直し

連結業績概況

損益計算書(抜粋)

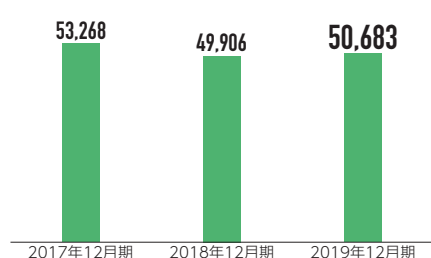
(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期
	自2018年1月1日 至2018年12月31日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高	49,906	50,683
売上総利益	10,481	10,558
販売費及び一般管理費	9,054	9,243
営業利益	1,426	1,314
経常利益	1,368	1,257
特別損益	983	2,101
税金等調整前当期純利益	2,351	3,358
親会社株主に帰属する当期純利益	1,319	1,500

貸借対照表(抜粋)

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期
	2018年12月31日現在	2019年12月31日現在
資産の部		
流動資産	23,963	22,471
固定資産	23,005	23,155
資産合計	46,968	45,626
負債の部		
流動負債	10,760	12,554
固定負債	7,350	7,275
負債合計	18,111	19,829
純資産合計	28,857	25,797
負債純資産合計	46,968	45,626

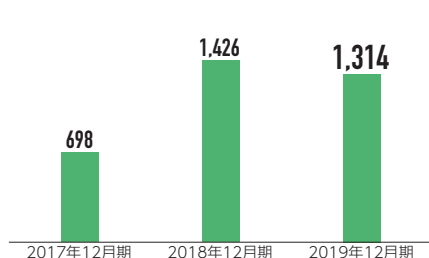
売上高

(単位:百万円)



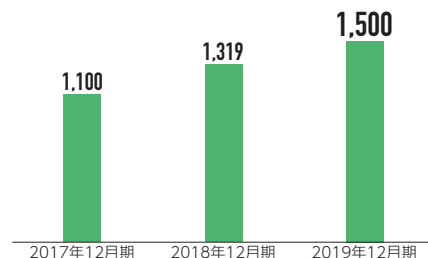
営業利益

(単位:百万円)



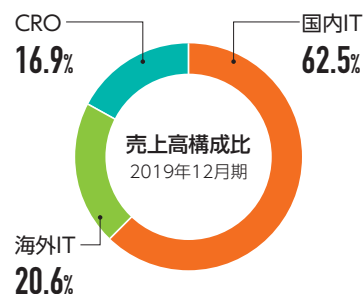
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



セグメント概況

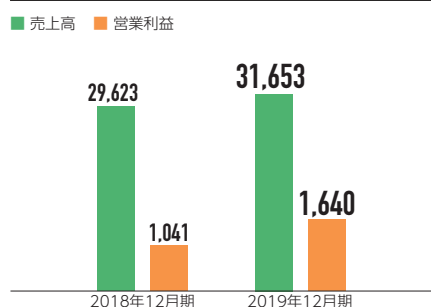
国内IT	既存顧客のIT需要が旺盛であったため、好調に推移
海外IT	既存事業は黒字化、M&A費用発生のため赤字継続
CRO	大型案件終了や案件縮小、受注低迷により、減収減益



セグメント別売上高/営業利益

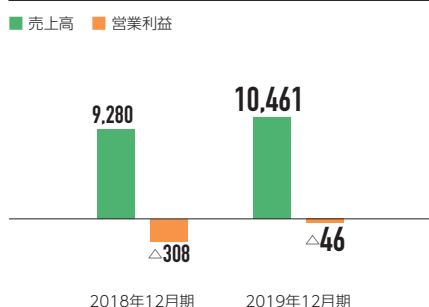
国内IT

(単位:百万円)



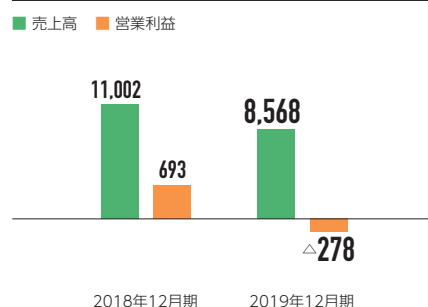
海外IT

(単位:百万円)



CRO

(単位:百万円)



中期経営戦略 (Determination21)

当社グループは個人の生活から企業活動、社会全般までを大きく変える「デジタルトランスフォーメーション(DX)」に対応できる企業グループへの変貌を目指しています。

基本方針

- 経営執行分離によるコーポレートガバナンス強化
- 執行体制と事業ドメインの一致による機動的な事業遂行の追求
- 資本効率改善と株主還元強化

2019年度までの取り組みと振り返り

既存事業における収益力改善

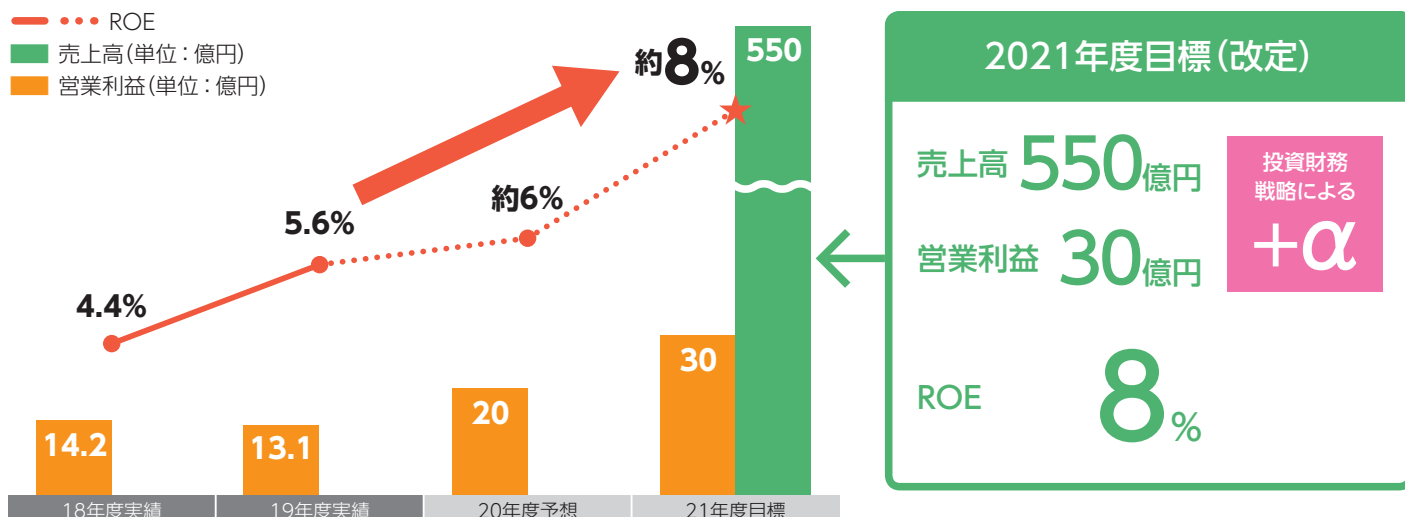
- 国内IT事業：
→計画通りに収益力が改善
- 海外IT事業：
→収益改善に遅れ
- CRO事業：
→売上高大幅減少による利益の大幅減

新規事業の創出、拡大

- 成長が見込まれる企業への出資：
→デジタルテクノロジーを有する企業への投資
- M&A：
→アジャイル開発のMitrais Pte. Ltd. 1件

2021年度業績目標の改定

中期経営戦略最終年度である2021年度の業績目標は設定目標を改定し、売上高550億円、営業利益30億円(投資財務戦略「POINT」による貢献を含まず)とします。資本効率改善や株主還元強化などの基本方針については重点事項として継続し、ROE8%達成という目標は変更しません。



1 高収益モデルの確立

グループ売上高の約2割を占める海外IT事業の収益率向上に注力し、進捗が遅れている事業再編やビジネス形態の見直しなどを進めます。

インド	事業再編やビジネス形態の見直しを迅速化
中国	中国国内市場に対する収益の拡大
ASEAN	アジャイル開発を軸に新規市場を開拓・拡張

2 投資財務戦略の強化 POINT

新設した投資財務戦略部により、投資および財務戦略の構築とその戦略遂行の強化に取り組みます。

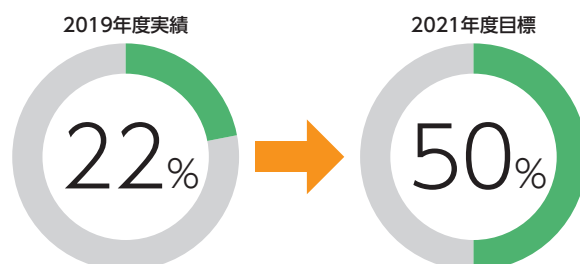
- グループ資産やキャッシュの最大活用で、グループ収益への貢献を目指す
- 中長期的なビジネスモデル変革に資するM&A等による新規事業領域拡大

3 DX対応の強力推進

DX対応のニーズを捉え、社会やお客様との共創モデル強化に取り組み、サステナブルなサービスを提供します。

- アジャイル開発の推進
- お客様との共創モデル強化
- CRO事業とグループ内のデジタルテクノロジーとの融合によりデジタルヘルスケアサービスの取り組み促進

当社グループにおけるデジタル案件の売上高比率



株主還元の強化について

中期経営戦略(2018年度～2021年度)の基本方針の一つである「株主価値の向上」を目指し、2019年12月期は増配と自己株式取得を実施しました。2020年12月期も資本効率改善と積極的な利益還元を継続いたします。

配当について 年間で12円増配

期末配当は1株につき6円増配の25円とし、中間配当25円と合わせた当期の年間配当は1株当たり12円増配の50円となりました。

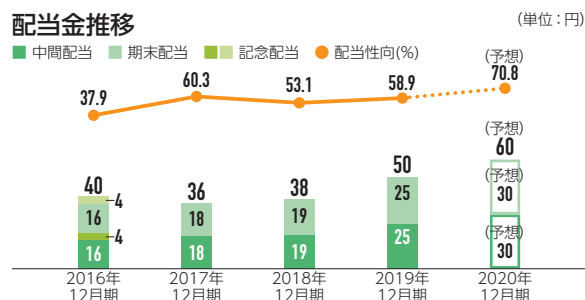
2020年12月期は、年間10円(中間配当5円、期末配当5円)増配の60円を予定しています。

自己株式の取得について

自己株式の取得を、以下のとおり実施しました。

1 取得対象株式の種類	当社普通株式
2 取得した株式の総数	2,006,100株
3 株式の取得価額の総額	2,999,929,600円
4 取得期間	2019年3月28日～2019年12月23日
5 取得方法	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付け

配当金推移



事業トピックス

CACが感情認識AIを活用した笑顔トレーニングアプリを リクルートスタッフィングと共同開発

シーエーシーは、感情認識AIを活用した表情トレーニングアプリ「**心sensor for Training**」をベースにカスタマイズを行い、株式会社リクルートスタッフィングと共同でアプリを開発いたしました。

「心sensor for Training」は、感情認識AIがカメラで対応練習中の顔の表情筋の動きを解析し、どのような印象を与える表情であったかを採点・評価します。

「笑顔」をみがく機能に特化した本アプリを活用することにより、リクルートスタッフィングから派遣されたスタッフの方々が素敵な笑顔でいることで、就業先でのコミュニケーションが円滑になり、自分らしく働いていただけることを目指していきます。



画面例：トレーニング結果画面(同一人物の結果比較画面)

解説 「心sensor for Training」の特徴

- ▶ 感情認識プラットフォームに米Affectiva,Inc.の感情認識AI「Affdex」を使用。世界87ヵ国以上から830万件以上の表情データを収集・蓄積している「Affdex」は、精度の高い感情認識を実現
- ▶ 顔の筋肉の僅かな動きをリアルタイムに計測し、瞬間的に生じる感情のデータ分析が可能
- ▶ 7種類の感情(怒り、軽蔑、嫌悪、恐怖、喜び、悲しみ、驚き)、21種類の表情、2種類の特殊指標(① 好感度と反感度、② 表情の豊かさ)の分析に加え、「笑顔」「真剣」「お詫び」「好感」などの指標を加え、表情トレーニングを実施

アジャイル開発を得意とする Mitrais Pte. Ltd.を子会社化

2019年9月にインドネシアを主要拠点とするIT企業Mitrais Pte. Ltd. (以下Mitrais)の株式を100%取得し、子会社化しました。Mitraisはインドネシアを主要事業拠点とし、そのほかハノイやオーストラリアなどアジアおよびオセアニアの5つの拠点で、グローバルにオフショア型アジャイル開発サービスを展開しています。

CACグループが直面しているDX時代において、迅速かつ柔軟なシステム提供に有効なアジャイル開発手法は今後普及が進むと予測されます。このアジャイル開発をグループ内で推進、強化していくことを目的として、実績とノウハウを持つMitraisを子会社化しました。



酒匂社長と現地スタッフ



インドネシア
バリ島拠点

名 称	Mitrais Pte. Ltd.
所 在 地	シンガポール共和国
設 立 年 月 日	2000年6月16日
従 業 員 数	401名(2019年12月31日現在)
主 な 事 業 内 容	ソフトウェア製品の販売・メンテナンス、 ソフトウェア開発受託サービス
資 本 金	2,329,000シンガポールドル



HPアドレス

<https://www.mitrais.com/ja/>



🎯 ボッチャコート[®]を無料貸し出し

当社グループは、社会貢献活動として取り組んでいる障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援の活動拠点として、2019年7月、本社1階にボッチャコートを設置しました。またさらなるボッチャの普及を目的に、10月より当ボッチャコートの貸出しも開始しており、ボッチャアスリートのみならず、レクリエーションとしてボッチャをする企業や団体の方々にもご利用いただいています。

- **所在地**
東京都中央区日本橋箱崎町24-1 (CAC Holdings本社 1階)
- **コート貸出し対象者** (下記要件を全て満たす方)
4名以上の個人グループや団体、18歳以上の責任者がいること
公序良俗に反する事項を目的とする活動をしないグループ、団体であること
営利を目的としないグループ、団体であること
- **貸出し日および時間帯**
<平日> 18:00-21:00
<土日祝日> 9:00-17:00 (9:00/11:00/13:00/15:00の入れ替え制)
- **申込み方法等**
<https://www.cac-holdings.com/csr/bocciacourt.html>
- **お問い合わせ先**
(株)CAC Holdings 経営企画部Enterprise Value Upグループ
Tel:03-6667-8010 mailto:enjoy-boccia@cac.co.jp



ボッチャとは

ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツです。赤、青のボッチャボールを投げたり転がしたりして、目標のボッチャボール(ジャックボールと呼ばれる白いボッチャボール)に近づけ、その得点を競うスポーツです。

会社情報・株式の状況

会社概要 (2019年12月31日現在)

商号	株式会社CAC Holdings
英文社名	CAC Holdings Corporation
本社	東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.03-6667-8001 (代表)
設立	1966年8月8日
資本金	37億2百万円
従業員数	31名(グループ従業員数 5,077名)

役員 (2020年3月24日現在)

代表取締役社長	酒 匂 明 彦
専務取締役	清 水 東 吾
取締役	西 森 良 太
社外取締役	黒 田 由 貴 子
社外取締役	森 時 彦
監査役	吉 田 昌 亮
監査役	川 真 田 一 幾
社外監査役	本 多 広 和
社外監査役	石 野 雄 一

株式の状況 (2019年12月31日現在)

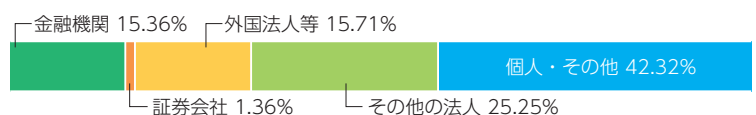
発行可能株式総数	86,284,000株
発行済株式の総数	20,541,400株
総株主の議決権の数	165,111個
株主数	4,476名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社小学館	3,102	18.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	712	4.31
CAC社員持株会	639	3.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	528	3.20
株式会社三井住友銀行	484	2.93

※ 持株比率は当社が保有している自己株式4,023千株を除外して算出しています。

所有者別分布状況



※ 単元未満株式6,800株を除外しております。自己株式は「個人・その他」に含めて記載しております。

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬開催
期末配当基準日	12月31日(中間配当金の支払いを行うときは6月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (https://www.cac-holdings.com/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部